



笠原小学校創立150周年

支えてきた150年 未来へ向かって200年



浅羽学園 袋井市立笠原小学校 学校だより 令和6年2月2日

2月会礼の話

昨日から2月が始まりました。つい先日、3学期の始業式でお話をしたところかと思っていたら、もう、1月が終わってしまいました。「1月は行く 2月は逃げる 3月は去る」という言葉があります。3学期の1月2月3月はあっという間に過ぎてしまうということを表した言葉ですが、本当にその通りだと感じます。この分だと、29日までしかない2月や半分春休みの3月も、きっとあっという間に過ぎてしまいそうですね。

さて、明日2月3日の土曜日は何の日か知っていますか。そうです、「節分」です。

みなさんの中には、「節分」ということで、「鬼は外、福は内」と言って豆をまいた人がいるのではないのでしょうか。この「節分」は、季節を分けると書きます。つまり、2月3日は、季節の分かれ目をいい、次の日の2月4日から季節が変わるということです。「春・夏・秋・冬」のどの季節かという、そうです「春」ですね。まだまだ寒い日が続いていて、ビオトープには氷が張ることもあります。そんな中でも暦の上では春を迎えました。



では、春になるとどんなことが起こるのでしょうか。寒さがやわらぎ、だんだんと日差しが暖かくなって、草花の緑が芽吹き始めます。冬眠から覚めた生き物たちが顔を出し始めます。日ごとに日の出から日の入りまでの時間が長くなって一日のうちの昼間の時間が長くなります。「春一番」といって、強い南風が吹くこともあります。他にももっともっとあるかもしれません。皆さんも、「春だな」と感じたことがあったら、校長先生に教えてください。

でも、春になって起こるのは自然の変化ばかりではありません。皆さんにも、いろんなことが起こります。この春、6年生は小学校を卒業し、4月から中学生になります。1年生から5年生も、4月には一つずつ学年が上がり、新しい1年生が笠原小学校に入学してきます。学校以外のことでも、例えば、習い事を新しく始めたり、級やグレードが上がったりといったこともあるかもしれません。みなさんは、そのことに備えた、例えば、卒業、進級するための準備はできているでしょうか。小学校から中学校へ、また、一つ上の学年に上がるためには、何が必要でしょうか。これまでの学習内容をしっかりと身に付けておくことも大事ですが、それ以上に、心を成長させることが大切だと思います。「優しい心」「思いやりの心」「頑張る心」「ありがとうと思う心」「くじけない心」・・・皆さんが一つ上の学年に上がるために大切な心がたくさんあります。

それでは、とってもしっかりと心を成長させるためにはどうすればいいでしょうか。特別な訓練が必要でしょうか。いいえ、そんなことはありません。毎日の生活の中で、友達と協力し、当たり前のことを当たり前に、一生懸命にやっていくことで心が育っていきます。新しい学年への準備は今からスタートしても決して遅くありません。素晴らしい春に向かって、1日1日を大切に、心を育てていきましょう。